

実証事業実施における深谷市の状況

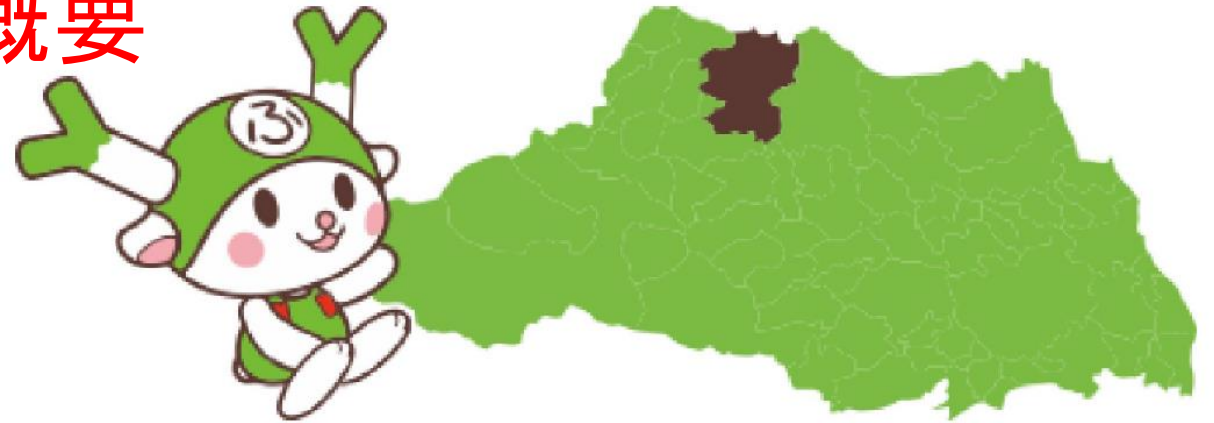
深谷市教育委員会学校教育課
課長補佐兼指導主事 鳥塚 源太郎

【本日の内容】

- I 部活動に関する深谷市の概要
- II これまでの経緯
- III 地域クラブ活動の実施について
- IV 成果と課題



I 部活動に関する深谷市の概要



◆中学校数	10校	
◆生徒数	3432人(R7.5現在)	※ 4465人(H18)
◆部活動数	運動部 106部	
	文化部 20部	
◆運動部活動加入率	64.5%	(R5は66.8%) ※ 年々低下

Ⅱ これまでの経緯

◆深谷市地域クラブ活動検討委員会（令和5年発足） ※年4回開催

【構成メンバー】

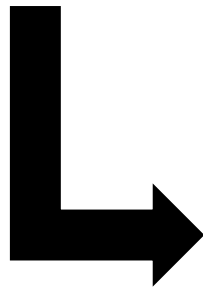
- ・教育長 ・教育部長 ・スポーツ協会会長 ・スポーツ少年団本部長
- ・スポーツ推進委員会会長 ・総合型地域スポーツクラブ代表
- ・レクリエーション協会会長 ・文化団体連合会会長
- ・中学校長会会長 ・小学校長会会長 ・中学校体育連盟会長 ・中学校体育連盟理事長
- ・顧問代表（運動部） ・顧問代表（文化部）

【事務局】

- ・学校教育課 ・生涯学習スポーツ振興課 ・地域クラブ活動コーディネーター

Ⅱ これまでの経緯

	部活動	民間独立型クラブ
平日	<p><u>ガイドラインを遵守した活動</u> ※計画的に部活動を適正数に</p>	<p>自由 ※生徒・家庭に委ねる。</p>
休日	<p><u>ガイドラインを遵守した活動</u></p> <div> <p>【地域クラブ活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術向上を主として活動 ※部活動が優先 ※複数校が合同で実施 </div>	<p>自由 ※生徒・家庭に委ねる。</p>



【3年間で地域クラブ活動(休日)を拡大・充実】

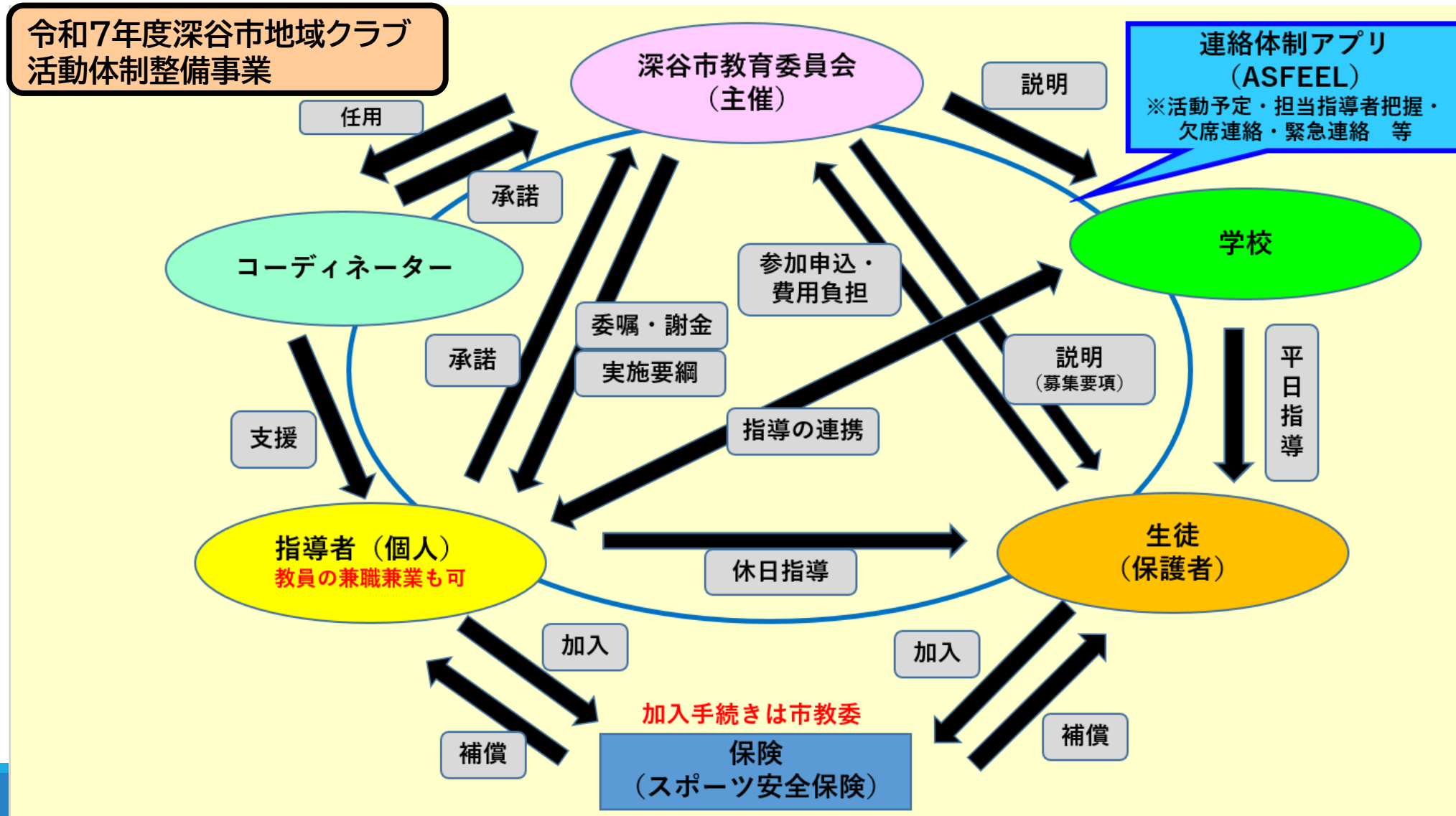
年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
実施 種目数	3 種目 (運動種目のみ)	6 種目程度⇒5 種目 (運動種目のみ)	10種目程度 (運動種目のみ)

Ⅲ 地域クラブ活動の実施(R7)について

- ① 実施主体：深谷市教育委員会
- ② 実施種目：10活動程度（卓球・剣道・ラグビー・バドミントン・ソフトテニス・野球 等）
※ R6はスポーツ活動のみ
- ③ 実施期間：7月～1月末の休日（上限25回）
- ④ 活動場所：学校、または指導団体の活動場所
- ⑤ 指導方針：個々の生徒の技能向上
（当該クラブ活動での大会参加が主目的ではない。）
- ⑥ 費用負担：参加者1人あたり200円×参加回数、保険料800円／年
- ⑦ その他：コーディネーターを会計年度任用職員として任用

Ⅲ 地域クラブ活動の実施(R7)について

全体像



Ⅲ 地域クラブ活動の実施(R7)について

パターン1 : 総合型地域スポーツクラブの指導者が指導

本日から
開始！

ラグビー



- ・ 団体保有の全面芝の環境で練習
- ・ クラブチームの生徒と一緒に練習



男女ソフトテニス(A校)



- ・ 顧問も兼業で指導
- ・ 8名の指導者がいるため、男女で活動場所が異なっても対応可能

Ⅲ 地域クラブ活動の実施(R7)について

パターン2 : 地域のスポーツ団体(スポーツ少年団等)の指導者が指導

卓球



- ・ 顧問を含め指導者10名がローテーションを組んで指導
- ・ 隣接する公民館の広いスペースを使って練習することもあり(減免可能)

剣道



- ・ 剣友会の指導者が顧問(兼業)とともに指導
- ・ 少人数のため、他校と合同で練習することもあり
(当該校は「地域クラブ活動」 相手校は「部活動」)

Ⅲ 地域クラブ活動の実施(R7)について

パターン3 : 外部指導者が中心となって指導

明日から「野球」が開始！

バドミントン



- 普段から生徒の練習に関わっている外部指導者が中心になって指導
- 平日の練習とのつながりが容易
- 生徒にとっては環境の変化が少ない



男子ソフトテニス(B校)

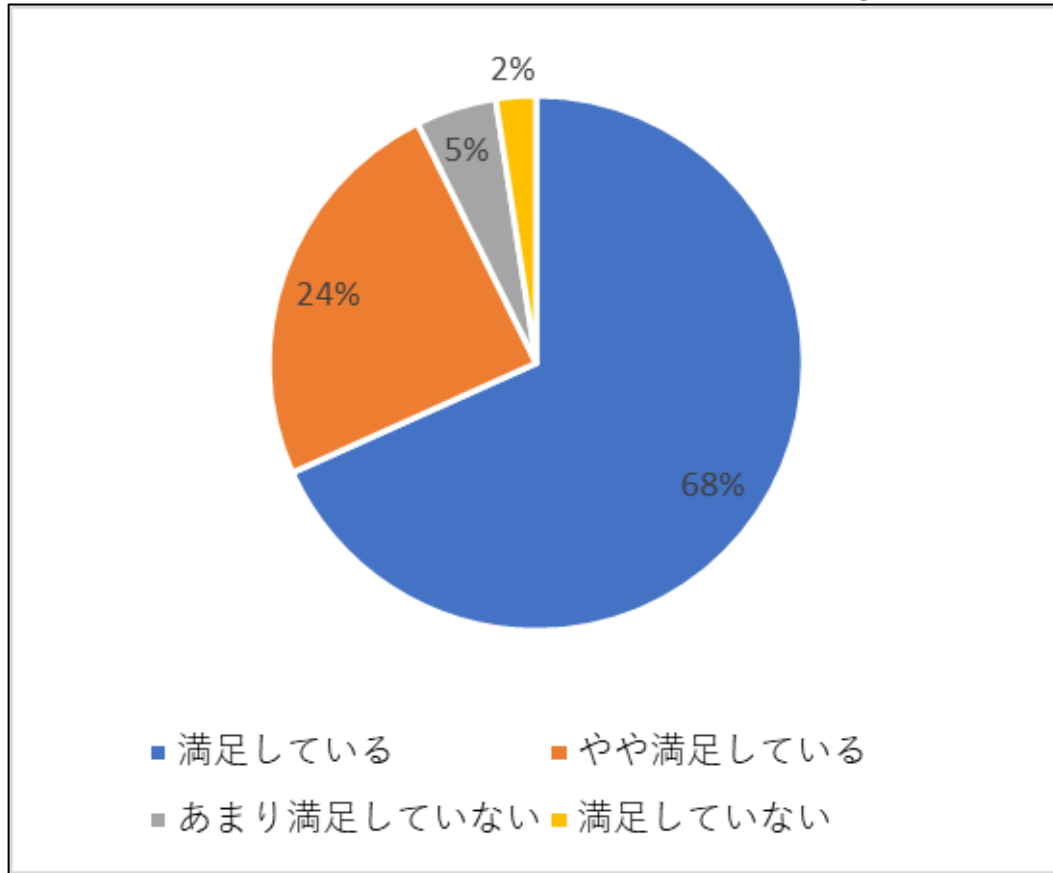


- 顧問(兼業)とともに顧問の教え子が指導
- 卒業生が指導者なので、長期的な指導体制が確立

IV 成果と課題（R6のアンケートから）

【生徒アンケート】

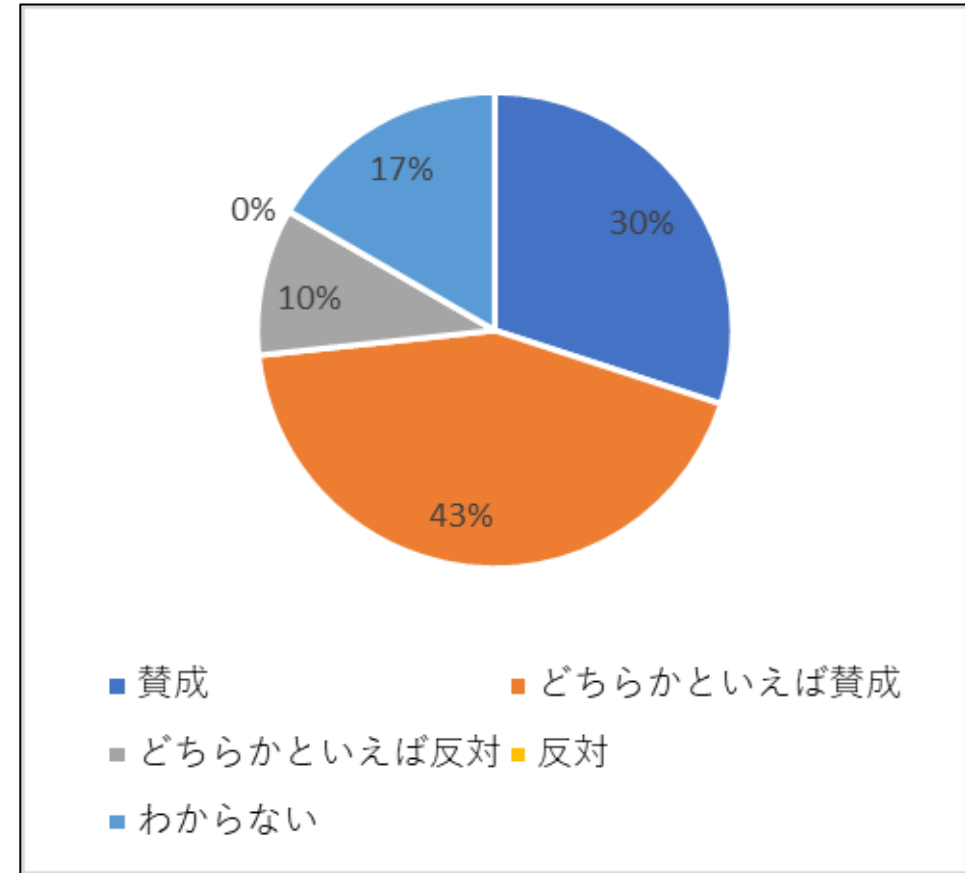
地域クラブ活動に満足していますか。



【グラフ1】

【保護者アンケート】

土日の活動が地域に移行していくことについてどう思いますか。

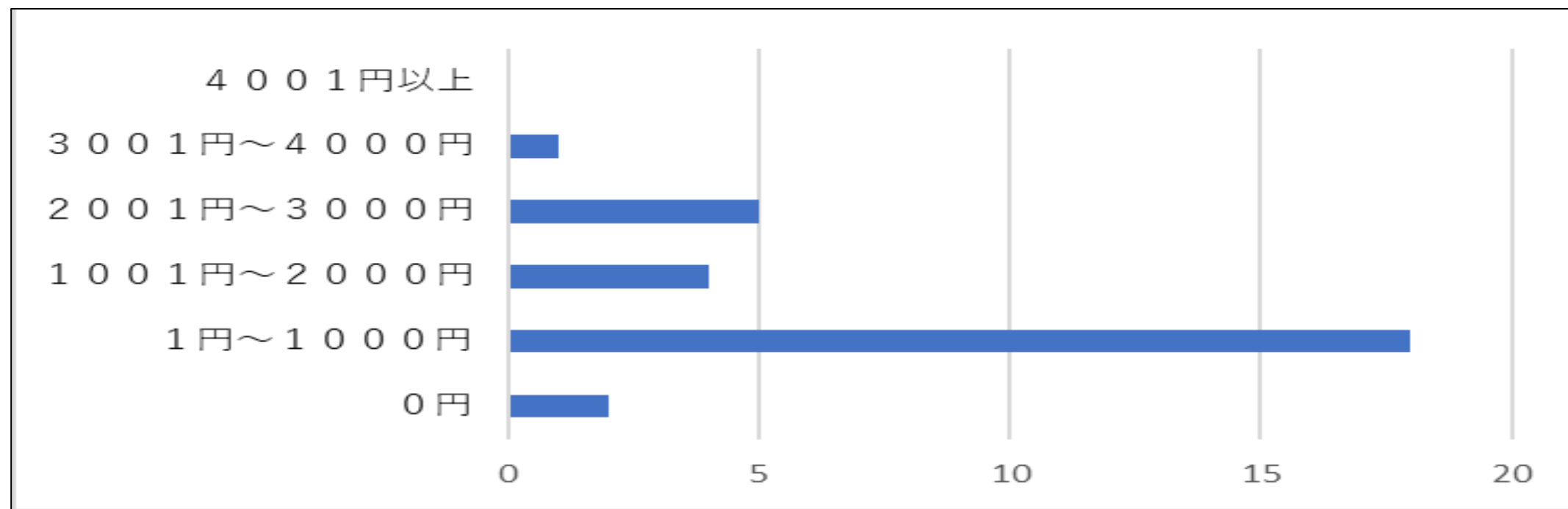


【グラフ2】

IV 成果と課題(R6のアンケートから)

【保護者アンケート】

地域クラブ活動が、土日どちらかの活動で、1回あたり3時間程度とした場合、月ごとの保護者の費用負担は、どの程度が適切だと思いますか。



【グラフ3】

Ⅳ 成果と課題（○成果 ▲課題）

- 指導経験が豊富な指導者が指導に当たっているため、より専門的な知識や技能を学べる機会になっている。
- コーディネーターが活動を巡回しているため、指導者や生徒の支援ができている。
- 生徒からも、肯定的な声が上がっている。（Q: 地域クラブ活動に満足しているか。 ⇒ 92%が肯定的）
例）・楽しい。・上手になっている。・たくさんのコーチに教えてもらえる。・丁寧に教えてもらえる。
・部活では知ることができないことを教えてもらえる。 など
- 連絡アプリを活用することで、必要以上に個人情報のやりとりをせずに、指導者・保護者・事務局の連絡体制が取れている。
- ▲ 本活動を今後、広げていくことを考えると、これまで以上に指導者の確保が課題となってくる。
- ▲ 国の補助金によって、低廉な参加費で活動が可能となっているが、補助金がなくなった場合の予算確保について、今後、大きな課題となる。（市や保護者の負担が増大）

ご清聴ありがとうございました

